

伐採、植栽による草原・草山の復元と白樺湖の新景観の回復事業

取組に至る背景・事業の目的

- 白樺湖周辺の観光利用者が減少し続け、別荘地の契約解除も多く、地域の活力低下が著しい。
- 地元の財産区、土地改良区、自治会が協働で地域の景観を保全していく。
- 全国的にも珍しい草原と湖の組み合わせの景観を保全することで、風光明媚な観光地としての魅力づくりを推進する。

事業内容

- 草原の復元の為の支障木伐採
 - ・ 支障木伐採委託 131 本
 - ・ 草薮刈払い委託 38,588 m²
 - ・ 草薮刈払い住民協働作業 22,657 m²
- 白樺湖西側草山火入れ作業
- 白樺湖畔、国道 152 号線草刈り作業
- 白樺湖畔花壇草取り



【 刈払い作業前 】

事業効果

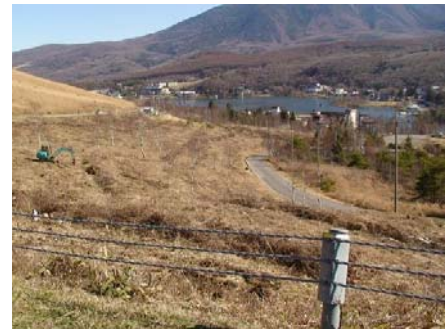
- 高木の伐採と片付け、草薮刈りの実施により、眺望が開け撮影スポットとなり車を止め 撮影をする行楽客の姿が連日のように見受けられた。駐車場の利用者が増加した。
観光客入込客数の増加
5.6%増加 (H24 春・夏期実績 対前々年度比)
- 湖水を挟み対岸がアピールされ、周遊する観光客の車が増加した。
白樺湖ボート利用客の増加
5%増加 (H24 春・夏期実績 対前々年度比)



【 刈払い作業中 】

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 既存事業が縦割りで行われていたことを改め、地域3団体が同じ価値観を有し、連携して事業に取組んだ。
- 地域住民の高齢化・人口減少により、景観を維持する作業の実施が年々厳しくなりつつある。
- 地元観光協会が解散したため、地元と観光関係者との意思疎通連携が図りにくく、各種連絡等でも役員への負担が多い。
- 市と東海大学の包括協定により白樺湖・車山エリアで実施する高地トレーニング活用に関する取組みと連携していく。
- 今後、八子ヶ峰地区のレンゲツツジ保護、信濃路遊歩道整備を行い、「環境と健康」に配慮した地域づくりを進める。



【 作業終了後 】

【選定のポイント】
観光客に対するイメージアップと、地域住民の景観に対する意識の向上に期待ができる。

団体名 白樺湖景観美化推進委員会 (茅野市) 連絡先 電話 0266-68-2411	事業タイプ	ソフト事業
	事業費	3,079,274円
	支援金額	2,929,000円